

# あべともこニュース

号外  
**立憲民主**  
RIKKEN MINSHU

## 必要な医療を求める人の手に

◆公共性のあるカルテ等の保存を！

地下鉄サリン事件が発生してから30年。厚生労働省は被害者のカルテを電子化し長期に保存する事業を始めると言います。

28日の予算委員会分科会で、その意義を福岡大臣に問うと、「今までの日本に欠けて来た」「歴史的知的財産の保全」にあると報告書を引いて答弁。医療者らの証言記録を同時に行うことの重要性も確認しました。

また、大臣は国立ハンセン病療養所の入所者に旧陸軍が開発中だった薬剤「虹波」が投与された臨床試験についてもカルテ等の検証の支援を行うと表明。具体的な予算、人員体制については心もとない答弁でしたが、各地の療養所でカルテや資料の永久保存が行われることが重要です。強制的に隔離した上、人権を無視した治療実験や骨格標本が作られた過去を直視するために。

◆高額療養費限度額引き上げは凍結を

この間、立憲民主党では、今年の8月から実施が予定されている高額療養費の自己負担限度額引上げに強く反対し、見直しと凍結を求めて法案も提出。

がん患者さんや不妊治療を受ける場合に、負担の上限額があることで治療を継続でき、高齢者は必要な回数、外来に通うことができます。

しかし、政府の方針は、今年8月の引上げは実施し、それ以降のことは患者団体などからの声を聞いて見直していくと、8月実施に強くこだわっています。

実は、自己負担限度額を上げることで治療をあきらめるなど受診抑制が起き、医療費が削減できるから、まず引き上げは実施すると理由があり、その背後には、長瀬効果という考え方があります。

医療を遠ざけて患者の生きる権利を奪う政治は絶対に許しません。



◆パレスチナの国家承認を！

25日、超党派「人道外交議員連盟」は、第8回総会を開催。「我が国におけるパレスチナ国家承認を含むパレスチナ国家樹立への貢献に向けた道筋」をテーマに、清水学氏（一橋大学元教授）からご講演をいただきました。停戦されたものの人質解放を巡って、ガザでは緊張した状態が続いています。平和構築に向けて、例えばグローバル・サウスと呼ばれる南半球の新興国の存在も重要です。日本もそうした国々と共に、パレスチナの国家承認をすること、対中東・湾岸外交の重視、UNRWAへの支援継続強化、インフラ復興の為にJICA等による後方支援をすべきだと清水氏は指摘。

現地のUNRWA清田明宏保健局長もオンラインで参加され、イスラエルによる活動の制約やヨルダン西岸での攻撃の激化への懸念を報告されました。28日には、議連として、政府・外務省に更なる支援を求め要請書手交を提出しました。

国際人道支援の先頭に立つべく引き続き活動してまいります。



衆議院議員あべともこプロフィール

神奈川12区（藤沢市・寒川町）  
当選9回、東京大学医学部卒業、  
小児科医、あべともこ子ども  
クリニック（湘南台）理事長  
現在、環境委員会  
原子力問題調査特別委員会委員



[https://twitter.com/abe\\_tomoko](https://twitter.com/abe_tomoko)



<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

あべともこ

検索

出典：羽鳥慎一モーニングショーX

